

## 活性化モデル商店街の概要

商店街名：広小路商店街振興組合

### ●キャッチフレーズ

「文化」と「科学」を楽しめるまち 広小路

## ◎商店街の将来ビジョン

### 【現状】

- ・ 広小路通は清洲越しによる名古屋城下の誕生以来、名古屋のメインストリートとして発展を続けており、百貨店を始めとした商業施設や文化施設が集積し、生活・娯楽・交流の場としての機能を有している。
- ・ 活性化事業の実施場所となる広小路長者町交差点から伏見交差点までの区間は、金融機関が比較的多く立地する一方で、老舗料理店や居酒屋などの飲食店も多く立地している。
- ・ でんきの科学館や名古屋市科学館、御園座（建替え工事中）等の文化施設に近接している。

### 【課題】

- ・ 名古屋駅前エリアにおいては、リニア新幹線の開通を見据えた社会的インフラの整備検討や超高層ビルの建築ラッシュなどが進んでおり、同エリアへの一極集中による栄・伏見地区の求心力低下の可能性が懸念されている。

### 【対策】

広小路エリアは江戸時代より名古屋の「文化」の発信拠点としての役割を担ってきたこと、そして現在では科学館を始めとした「科学」の発信拠点でもあることに鑑み、イベントの企画内容に愛知県の伝統文化である山車の展示・実演等やダンスなどを盛り込んだ「文化」及び子供向けの「科学」を発信することで、幅広い世代の集客を図る。

- ・ 栄町商店街振興組合及び名古屋市科学館と連携し、栄－伏見間の広小路通を舞台としたイベントである「広小路夏まつり」を開催する。
- ・ 地域のまちづくり団体である「芸術と科学の杜連携推進会議」との連携による事業を展開する。

## ◎具体的に取組む事業内容

○広小路「文化」と「科学」のまちづくり事業（28年度～32年度）

- (1) 広小路夏まつりの開催
- (2) 次年度へ向けた検討会の開催
- (3) 芸術と科学の杜連携推進会議との連携事業の実施

○広小路花小路（28年度～32年度）

広小路通沿いの植栽帯の花植え等を実施